

平成 28 年 (2016 年) 1 月 1 日 <No-16>

長野県松本家畜保健衛生所  
〒390-0851 松本市島内西川原 6931  
TEL:0263-47-3223 FAX:0263-47-0101  
E-mail:matsukachiku@pref.nagano.lg.jp  
中信家畜畜産物衛生指導協会  
TEL : 0263-47-6789

# かほだより

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。  
本年もどうぞ宜しくお願いいたします。



お健やかに初春をお迎えのことと存じます。

また、日頃から当所の事業推進に格別なるご支援とご協力いただいております、心より感謝申し上げます。本年も変わらぬご厚情を賜りますよう、あらためてお願い申し上げます。

昨年、管内においては、春先の少雨、お盆過ぎの低温・日照不足、局地的な豪雨などの天候不順はあったものの重大な災害もなく、果樹野菜などの農作物についても、一部品目で収量が前年を下回ったものの、全般的に生育は順調で作柄も良く販売額も総じて前年を上回っているようです。

畜産では、昨年12月の県中央家畜市場における和子牛の平均価格が73万円に達し、JA全農調べの全国和子牛取引結果も70万円を超えるなど和子牛価格の高騰傾向が続いております。また、和牛枝肉価格も高値が続き昨年末には去勢A4で2600円/Kg以上と強く、豚肉、鶏肉、鶏卵価格も概ね堅調で、年末需要も旺盛に推移したようです。

さて、家畜衛生に関しては、県内での家畜伝染病の発生では26年に伊那家保管内、27年に佐久家保管内でそれぞれ1頭牛ヨーネ病の発生があり、管内では昨年、蜜蜂ふそ病が4件発生し、届出伝染病でも牛白血病(4件)、豚丹毒の発生はあるものの概ね平穏に推移しております。この牛白血病に加えBVD(牛ウイルス性下痢・粘膜病)対策につきましては、生産者皆様、関係獣医師、公共牧場等多くの皆様のご理解とご協力により、検査の推進による感染拡大防止など着々と成果を上げていることに対しましてあらためてお礼申し上げます。

また、26年5月に管内の2農場で発生したPED(豚流行性下痢)につきましては、当該農場及び関係者の防疫活動は現在でも続いており、他地域への感染拡大は防止されている状況ですが、初発農場においてはこの冬にも散発がみられるなど、一旦農場への侵入を許した場合の根絶の難しさを痛感させられ、本病に限らず疾病の侵入防止の重要性を再確認いたしました。

なお、昨年11月に実施しました埋却溝の掘削等を中心とした防疫演習につきましては、大変多くの方に参加いただきありがとうございました。高病原性鳥インフルエンザにつきましても口蹄疫におきましても、いつ何時、国内・県内に侵入するかわからない状況が続いており、いずれの畜種においても、更なる防疫体制の強化が必要となっておりますので、飼養衛生管理基準の再徹底などに十分ご留意をお願いいたします。

最後になりますが、TPPの動向・影響等不安材料も多いわけですが、どうぞ、皆様がお体に十分留意され健康で過されますことと、皆様にとりまして、本年が、明るく豊かな一年となりますよう、お祈り申し上げ、新年のご挨拶にかえさせていただきます。

平成28年1月元旦

松本家畜保健衛生所長 唐沢 正信

◆◇「オール信州」宣言 ◇◇

私たちは「長野県人口定着・  
確かな暮らし実現総合戦略」の  
実現に取り組んでいます。



しあわせ信州